技 術 概 要 書 （様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災　インフラDX　維持管理　環境　コスト　品質　（該当分類に○を付記）		
技術名称	GIS情報共有システム Hec-Eye	担当部署	業務管理部 技術営業課
NETIS登録番号	―	担当者	中川 和樹
社名等	シマウチエンジニアリング株式会社	電話番号	0952-22-5107

技術の概要

１．技術開発の背景及び契機

2015年度総務省「IoTサービス創出支援事業」の採択案件を通じて構築したリファレンスモデルの核となる技術を応用して開発。
事業立ち上げ当時が熊本地震直後であったこともあり、災害分野でのドローン活用や状況を消防にヒヤリングしていくことで、迅速な状況把握の必要性に着目して必要な機能を追加開発して実装。
実証の結果、有用性を確認し、商品化に至りました。

２．技術の内容

ドローンやスマホをはじめとした情報端末の位置と映像を地図上にリアルタイムに表示することで、迅速な情報収集を実現。リアルタイムデータに加え、任意の質問の組み合わせでデータを報告できるレポート機能もあり、より多くの人からのデータを集めることが可能です。
また、オフライン環境でも情報を収集できるアプリなどを開発し、レポートを収集できるようにすることで、幅広い場面で活用できるようになっています。
特別な訓練を必要とする複雑な専門家のためのツールではなく、万人が使えるシンプルなツールを目指し、実際に兵庫県庁の防災訓練などでは15分のレクチャーで自治体職員が情報収集に活用できています。

3．技術の効果

リアルタイムに現場の情報を収集するため、特にドローンの上空からの映像は広域な被災状況を迅速に把握するためには効果的です。
また、調査情報が時刻と位置に紐づいて地図上に整理されるので、通常のデータ整理が必要なくなるため、情報の集約と整理における一連の流れでの業務効率化を図ることができます。
その他、データをcsvやAPIで取り出すことができ、帳票作成や既存システムとも簡単にデータのやり取りを行うことが可能です。

４．技術の適用範囲

・スマホ
・ドローン
・PCやタブレット

５．活用実績

・自治体　76件（九州 17 件、九州以外 59 件）
・民間　48件（九州 4 件、九州以外 44 件）

6. 写真・図・表

HEC-EYE™

特許番号：第6677684号

Hec-eyeは、ドローンやスマートフォン等のIoT機器と連携し、映像や位置情報等の各種データをリアルタイムに地図上に集約し、一元管理できるGISプラットフォームです。

ドローン・スマホで
撮影するだけ！

自動アップロード

保存

状況確認

Hec-Eyeにアクセス
するだけで状況を把握